

【日本企業の広報】 日本企業と連携した東日本大震災復興支援感謝イベントの開催 (オーストラリア・西オーストラリア州)

開催日: 令和5年6月17日

場 所: パース補習授業校

共催: 川内高原そば、パースふくしまの会、パース補習授業校

参加企業: トヨタ自動車オーストラリア

在パース総領事館

【概要】

- パース補習授業校は、東日本大震災後10年間欠かさず3月11日の追悼行事を行い、寄付で集めた義捐金を被災地におくり続けていた。そうした支援に対する感謝の気持ちを伝えるために川内高原そばのメンバーが学校を訪れ、川内村の名物である手打ちそばをふるまう「福島県xパースイベント(手打ちそば)with トヨタ水素」を開催。
- 東日本大震災により、福島県では原子力発電所の事故が発生し、川内村は一時全面的避難を余儀なくされた経験があることから、同県が推進している環境に優しい新エネルギーについて考える機会を通じて、未来に向けて着実に歩みをすすめているメッセージを発信するために、トヨタ自動車オーストラリアの協力を得て、世界的にも珍しい水素キッチンカーとのコラボレーションが実現した。
- 冒頭、内藤総領事による挨拶、内堀福島県知事からパース補習授業校の生徒へのビデオメッセージ、トヨタ自動車オーストラリアによる水素エンジンのプレゼンテーションの後、水素が動力のキッチンカーでそばをゆで、現地生徒120人以上に打ちたてのそばがふるまわれた。また、会場では水素燃料電池車MIRAI(ミライ)も展示された。

【評価・結果】

- 生徒達からは「これまでに食べた中で一番おいしい」「川内村まで食べに行きたい」「水素はすごい」との声が上がり、福島とパースを結ぶ強い絆と優しさを縁として、未来に向けて新しいエネルギーである水素について考える意義のあるイベントとなった。
- 本イベントは、トヨタタイムズニュースでも配信され、内堀福島県知事からの「福島が原発事故のネガティブなイメージのままではなく、未来に向かって復興を進めている状況を水素カーと川内村のそばでパースの方々に感じてほしい」とのコメントにもあるように、福島の復興と新エネルギーである水素分野での日本の技術をPRできる機会となった。
(報道ぶり右参照)

